第 1 版

情報セキュリティ大学院大学　履修証明プログラム

【文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT)enPiT-Pro」選定】

# 2025 年度

## 情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム（ProSec）

## ［メインコース］

# 受講生募集要項

明日の信頼を創ろう。

情報セキュリティ大学院大学

INSTITUTE of INFORMATION SECURITY

## 1.　プログラム概要

(1)「情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム（ProSec)」について
　本要項は、文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT) enPiT-Pro」に選定された「情報セキュリティ人材育成短期集中プログラム（ProSec)」に基づいて，情報セキュリティ大学院大学が開講する社会人向けメインコースの受講生募集要項となります。

(2)「履修証明プログラム」について
　平成 19 年の学校教育法の改正により、大学等における「履修証明制度」が創設されました。これは、正規課程に在籍する学生を対象とする学位プログラムとは別に、一般社会人等を対象として一定時間以上の教育プログラムを提供し、修了者に対し、学校教育法に基づき、大学が公式に履修証明書を交付する制度です。本学における履修証明プログラムの総時間数の要件は 120 時間以上です。

※履修証明制度に関する文部科学省サイト内ページ
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/

## 2.　2025 年度開講 メインコースの内容

(1)2025 年度第 1 期開講分（2025 年 4 月～2025 年 10 月）

■CSIRT 運営管理者向けメインコース（CS-M2025)
IT 実務の現場でセキュリティ対策を技術面・管理面で牽引できる実践的リーダーを育成するコースです。情報セキュリティの学び直しをしたい現役 IT 技術者、産業界で情報系業務に従事している技術者の方々に向け、組織における標的型攻撃対策、ソフトウェアやネットワークシステムの設計・開発段階でのセキュリティ対策、セキュリティマネジメント、CSIRT運営等にかかわる業務遂行に必要な知識、スキルを習得していただくためのプログラムを提供します。

| 授業科目・演習 | | スケジュール等 |
|---|---|---|
| 必修 | CSIRT 実践（CSIRT 構築の手引き、NW セキュリティ技術、Web アプリ検査、デジタルフォレンジック） | 6/16、17、6/30、7/1、2（30 時間） |
| | セキュアシステム技術演習―NW 攻撃とその防御および検知― | 10/20、21、22、27、28、29<br>（1 日 5 コマ×6 日）（計 45 時間） |
| 選択 | リスクマネジメントと情報セキュリティ | 木 5 限（18:20～19:50計 22.5 時間<br>※4/10オンライン開講 |
| | セキュリティの法律実務 | 月 6 限（20:00～21:30）計 22.5 時間<br>※4/7開講 |
| | 情報デバイス技術 | 木 5 限（18:20～19:50）計 22.5 時間<br>※4/10 オンライン開講 |

| | | |
|---|---|---|
| | ネットワークシステム設計・運用管理 | 月 6 限（20:00～21:30）計 22.5 時間<br>※4/7開講 |
| | セキュリティシステム監査 | 土 2 限（10:40～12:10）計 22.5 時間<br>※4/12 開講 |

※各科目のシラバス、詳細時間帯等については、下記 Web ページから参照のこと。
https://www.iisec.ac.jp/education/schedule/
https://www.iisec.ac.jp/education/curriculum/

［修了要件］必修2演習＋選択 より 2 科目を履修すること。

■IoT セキュリティメインコース（IT-M2025）
IoT 機器や IoT サービスの設計・開発から運用に至るトータルなセキュリティ対策を技術面・管理面で牽引できる実践的リーダーを育成するコースです。IoT を活用する製品を開発、あるいはそのサービス運用事業を担う企業や官公庁等において、関連業務に従事した経験を持つ技術者の方々に向け、IoT セキュリティ技術や Security-by-Design における脅威分析技術等について、業務遂行に必要な知識、スキルを習得していただくためのプログラムを提供します。

| 授業科目・演習 | | スケジュール等 |
|---|---|---|
| 必修 | IoT セキュリティ実践演習 | 6/4、5（1 日 4 コマ×2 日）（計 12 時間） |
| | セキュアシステム技術演習―NW 攻撃とその防御および検知― | 10/20、21、22、27、28、29<br>（1 日 5 コマ×6 日）（計 45 時間） |
| 選択 | ソフトウェア構成論 | 水 6 限（20：00～21:30）（計 22.5 時　※4/9開講 |
| | リスクマネジメントと情報セキュリティ | 木 5 限（18:20～19:50計 22.5 時間<br>※4/10オンライン開講 |
| | ネットワーク設計とセキュリティ運用 | 月 6 限（20：00～21:30）（計 22.5 時　※4/7開講 |
| | 暗号・認証と社会制度 | 金 6 限（20：00～21:30）（計 22.5 時　※4/11開講 |
| | 情報デバイス技術 | 木 5 限（18:20～19:50）計 22.5 時間 ※4/10 オンライン開講 |

※各科目のシラバス、詳細時間帯等については、下記 Web ページから参照のこと。
https://www.iisec.ac.jp/education/schedule/
https://www.iisec.ac.jp/education/curriculum/

［修了要件］必修 2 演習＋選択科目 3 科目を履修すること。

(2)2025 年度第 2 期開講分（2025 年 9 月～2026 年 2 月）

■企業経営向けビッグデータ分析とリスク経営メインコース（RM-M2025）
企業経営実務においてビッグデータ分析を技術面・管理面で牽引できる実践的リーダーを育成するコースです。企業や官公庁等において、情報管理に関係する業務に従事した経験を持つ情報技術者や管理系業務従事者、及びこれらの職種を志望される方々に向け、IT ガバナンス、予測分析、人的要因分析等の業務遂行に必要な知識、スキルを習得していただくためのプログラムを提供します。

| 授業科目・演習 | | スケジュール等 |
|---|---|---|
| 必修 | インシデント対応と CSIRT 基礎演習 | 9/4、5、8、9（9:00～16:10）（計 22.5 時間） |
| | 実践講義（データ・サイエンスとアナリティクス） | 金 6 限（20:00～21:30）（計 22.5 時間）　※10/3 開講 |
| 選択 | 組織行動と情報セキュリティ | 月 5 限（18:20～19:50）（計 22.5 時間）　※10/6 開講 |
| | セキュリティ経営とガバナンス | 月 4 限（13:00～14:30）（計 22.5 時間）　※10/6 開講 |
| | 情報セキュリティ心理学 | 木 3 限（13:00～14:30）（計 22.5 時間）　※10/2 オンライン開講 |
| | セキュアシステム構成論 | 木 6 限（20:00～21:30）（計 22.5 時間）　※10/2 オンライン開講 |
| | セキュア法制と情報倫理 | 火 4 限（14:40～16:10）（計 22.5 時間）　※10/7 開講 |
| | サイバーセキュリティ技術論 | 隔週土 3・4 限（13:00～16:10）計 22.5 時間　※10/4 開講 |

※各科目のシラバス、詳細時間帯等については、下記 Web ページから参照のこと。
https://www.iisec.ac.jp/education/schedule/
https://www.iisec.ac.jp/education/curriculum/

［修了要件］　必修 1 演習＋必修 1 実践講義＋選択科目 4 科目を履修すること。

［事前知識］以下の領域における基本的な知識を有することが望ましい（学部卒業程度、すべてが必須とはしない）
・学部卒業程度の経営学の基礎（概論、総論相当）
・学部卒業程度の経済学の基礎（概論、総論相当）
・学部卒業程度の法学の基礎（憲法、民法、刑法など）
・情報セキュリティマネジメントの基礎（IPA 情報処理技術者試験レベル）

(3)2025 年度第 3 期開講分（2025 年 10 月～2026 年 2 月）

■次世代 Fintech セキュリティとデータ・サイエンスメインコース（FD-M2025）
次世代の金融システムの設計開発とその情報セキュリティ対策のリーダー人材を育成するコースです。金融機関等の企業や官公庁等において、最新の金融システム開発やその情報管理業務に従事した経験を持つ情報技術者や管理系業務従事者、及びこれらの職種を志望される方々に向け、次世代 Fintech のコア技術の一つであるブロックチェーンの理論、事業リスク

マネジメント実務においても重要なデータ・サイエンスに関する知識等、今後の経済社会が求める実践的な理論や知識をバランスよく習得していただくためのプログラムを提供します。

| 授業科目 | | スケジュール等 |
|---|---|---|
| 必修 | 実践講義（ブロックチェーン理論） | 月 6 限（20:00～21:30）（計 22.5 時間）　※10/6 開講 |
| | 実践講義（データ・サイエンスとアナリティクス） | 金 6 限（20:00～21:30）（計 22.5 時間）　※10/3 開講 |
| 選択 | 情報システム構成論 | 隔週土 1・2 限（9:00～12:10）（計 22.5 時間）　※10/4 開講 |
| | 暗号プロトコル | 火 2 限（10:40～12:10）（計 22.5 時間）　※10/7 開講 |
| | 実践的 IoT セキュリティ（受入制限あり）※ | 月 5 限（18:20～19:50）（計 22.5 時間）　※10/6 開講 |
| | セキュアシステム構成論 | 木 6 限（20:00～21:30）（計 22.5 時間）　※10/2 オンライン開講 |
| | サイバーセキュリティ技術論 | 隔週土 3・4 限（13:00～16:10）計 22.5 時間　※10/4 開講 |

※「実践的 IoT セキュリティ」の受入確定の時期は 10 月半ば以降のため、本科目の選択を希望する場合は、第 2 希望科目も(様式 3)履修願に記入する事。
※各科目のシラバス、詳細時間帯等については、下記 Web ページから参照のこと。
https://www.iisec.ac.jp/education/schedule/
https://www.iisec.ac.jp/education/curriculum/

［修了要件］　必修 2 実践講義＋選択科目 4 科目を履修すること。
［事前知識］以下の領域における基本的な知識を有することが望ましい（学部卒業程度、すべてが必須とはしない）

・学部卒業程度の数学および情報科学の基礎
・学部卒業程度の統計学の基礎

## 3.　受講資格

次のいずれか一つに該当する者（大学院修士課程入学レベル）

(1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者
(2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
(5) 文部科学大臣の指定した者
(6) 2025 年 3 月 31 日において学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上（休学期間を除く）在学した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得見込みであると認めたもの
(7) 外国において学校教育における 15 年の課程を修得した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
(8) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者であって、本学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(9) 学校教育法第 102 条第２項の規定により他の大学院に入学したことがある者であって、本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
(10) 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者
(11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
(12) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(13) その他本学において、大学を卒業したものと同等以上の学力があると認めた者

開講される各コースを履修するための前提条件は以下のとおりです。

## 4. 募集人員

各コースとも若干名

## 5. プログラム実施場所

―各コース共通―
情報セキュリティ大学院大学校舎　※横浜駅きた西口徒歩 1 分
（〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1）
※一部変更の可能性がございます。

## 6. 出願書類

(1) 情報セキュリティ大学院大学「情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム（ProSec）」願書（所定様式）
(2) 最終出身大学等の卒業証明書又は卒業見込証明書
(3) 最終出身大学等の成績証明書
(4) 写真 2 葉（縦 3cm×横 2.5cm のもの。出願前 3 ヶ月以内に撮影したもの。カラー、白黒、スピード写真いずれも可。裏面に氏名を記入のこと）
(5) 志望理由書（所定様式）
(6) 履修願（所定様式に履修希望科目を記入し、提出のこと）
[注] 「2. 出願資格」の(6)～(10)、(13)で出願を希望される方および外国人留学生の方は、上記のほかに別途書類が必要となります。詳細は、本学事務局にお問い合わせください。

## 7. 審査料

20,000 円（非課税）

※出願期間中に、以下のいずれかの銀行口座にお振込みください。

※一旦振り込まれた審査料は、いかなる理由があっても返金いたしかねます。

※振込み手数料は、振込名義人のご負担とさせていただきます。

［口座名］　学校法人岩崎学園　検定料口
・三井住友銀行　横浜駅前支店　（普）　No.5535638
・横浜銀行　　横浜駅前支店　（普）　No.1081583

## 8. 出願期間

＜2025 年度第 1 期開講分＞　　2025 年 3 月 18 日(火)～3 月 24 日(月)
＜2025 年度第 2 期開講分＞　　2025 年 5 月 15 日(木)～7 月 25 日(金)
＜2025 年度第 3 期開講分＞　　2025 年 5 月 15 日(木)～9 月 19 日(金)

出願書類の受付は郵送のみです。郵送は書留郵便とし、出願書類一式を本学事務局へ郵送してください（各締切日必着)。受付期限後到着のものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。また、申込者多数の場合、申込期間の途中でも募集を締め切らせていただく場合があります。予めご了承ください。

宛　　先　：〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1
情報セキュリティ大学院大学　ProSec 事務局

## 9. 選考方法

書類審査。ただし、必要に応じて面接を課す場合があります。

## 10. 選考結果

第 1 期コースについては 4 月初旬、第 2 期コースについては 8 月中旬、第 3 期コースについては 9 月下旬に志願者の指定する宛先に、選考結果を送付します。

## 11. 受講手続

選考結果とともに送付する書類にしたがって、受講手続をしていただきます。

## 12. 受講料

| コース名 | 受講料（非課税） | 納入期限 |
|---|---|---|
| CSIRT 運営管理者向けメインコース（CS-M2025） | 600,000 円 | 2025 年 4 月 30 日 |
| IoT セキュリティメインコース（IT-M2025） | 580,000 円 | 2025 年 4 月 30 日 |
| 企業経営向けビッグデータ分析とリスク経営メインコース（RM-M2025） | 540,000 円 | 2025 年 9 月 30 日 |
| 次世代 Fintech セキュリティとデータ・サイエンスメインコース（FD-M2025） | 480,000 円 | 2025 年 10 月 31 日 |

※振込口座等の情報は、受講手続き書類に同封される請求書に記載されます。
※一旦振り込まれた受講費等は、いかなる理由があっても返金いたしかねます。
※振込み手数料は、振込名義人のご負担とさせていただきます。

## 13. 履修証明書について

学校教育法に基づく履修証明制度により、各コースの修了者には、「情報セキュリティプロ人材育成短期集中プログラム（ProSec-X）履修証明書」を授与します。

## 14. 単位認定について

演習、実践講義を除く各コースの授業科目として履修し、成績評価を受けて合格した授業科目については、単位を認定します。当該科目の単位については、本学に正規の学生として入学した際、10 単位を上限として修了所要単位に認定される場合があります。また、本人の請求により単位修得証明書を発行します（有料）。

## 15. 2023 年度以降に情報セキュリティ大学院大学の科目等履修生又は企業向け集中コース等で同様の授業科目・演習を履修・受講済の方

「2. 2025 年度開講 メインコースの内容」の各メインコースで指定されている授業科目・演習の一部について、2022 年度以降、本学の科目等履修生又は企業向け集中コース等で履修・受講済の方は、当該授業科目・演習を既に履修したものとして、各コースの修了要件に組み入れることが可能です。この場合、当該授業科目・演習の履修・受講において納入された履修料・受講料分を各コースの受講料から減免します。該当の有無や手続き等の詳細は、下記 ProSec 事務局にお問い合わせください。

## 16. 2023 年度以降に「enPiT-Pro Security (ProSec)」連携大学による ProSec コースを受講された方

2023 年度以降、本学の「enPiT-Pro Security (ProSec)」連携大学（東北大学、大阪大学、和歌山大学、九州大学、長崎県立大学、慶應義塾大学）による ProSec コースを受講された方は、受講された授業・演習の内容によっては、「2. 2025 年度開講 メインコースの内容」の各メインコースで指定されている授業科目・演習の一部を既に受講したものとして認められる場合があります。この場合、既習認定された授業科目・演習の履修料・受講料分を各コースの受講料から減免します。該当の有無や手続き等の詳細は、下記 ProSec 事務局にお問い合わせください。

## 17. その他

(1) 受講手続完了者には、ProSec 受講生証を交付します。手続期間内に手続をしなかった場合は、辞退したものとみなします。

(2) ProSec 受講生には、通学証明書（通学定期用）および学生割引証は発行されません。

(3) 本要項に記載されているスケジュールは、2025 年 2 月 25 日現在のものです。やむを得ない事情により、各授業科目・演習の一部日程について、休講、補講が発生する可能性がありますことを予めご了承ください。なお、社会情勢の影響により、一部開講スケジュールが変更する可能性がございますことを併せてご承知おきください。

本件に関するお問い合わせ先

情報セキュリティ大学院大学　ProSec 事務局
〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町 2-14-1
E-mail：prosec@iisec.ac.jp